

令和3年度第4回社会教育委員会議定例会（第32期） 会議録

会議名（審議会等の名称）		令和3年度第4回社会教育委員会議定例会（第32期）
開催日時		令和4年2月17日（木曜日）午後3時00分～午後4時30分
開催場所		文化創造拠点シリウス6階 生涯学習センター601講習室
出席状況	委員	10人：伊藤（仁）委員、伊藤（能）委員、大川委員、大澤委員、小森委員、齋藤（正）委員、齋藤（道）委員、箱崎委員、長谷部委員、丸田委員
	関係各課	3人：図書・学び交流課長、図書・学び交流課図書係長、同係員1人
	事務局	2人：図書・学び交流課学び交流係長、同係員1人 学び交流係（259-6104）
	傍聴人数	0人
公開・非公開の状況		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
非公開・一部非公開の場合 はその理由		
審議又は検討経過 及び結果		<p>1 会議次第</p> <p>1 報告事項</p> <p>1) 令和4年度生涯学習振興補助金選考結果について</p> <p>2) 令和3年度社会教育委員会に関する研修会等について</p> <p>3) 令和4年度家庭教育支援に関する事業について</p> <p>2 協議事項</p> <p>1) 大和市子ども読書活動推進計画～こども読書よむ読むプラン（諮問）</p> <p>3 その他</p> <p>2 審議及び結果</p> <p>主な内容は次のとおり</p> <p><開会></p> <p><事務局から配布資料の確認></p> <p><議長あいさつ></p> <p><報告事項></p> <p>1) 令和4年度生涯学習振興補助金選考結果について</p> <p><事務局より文化振興課の代理で説明></p> <p>（議長）では、選考に出席した委員から報告事項はあるか。</p> <p>（委員）3件とも良い企画であり承認が決定した。また今年から補助金の上限金額が1団体あたり100万円から25万円となったことを報告する。</p> <p>（議長）事務局および委員からの報告について、他の委員から何か質問はあるか。</p> <p>（委員）事業ごとの補助金の1団体あたりの上限は25万円と設定されたが、総額100万円については変更なしと考えてよいか。</p>

(委員) 総額 100 万円に変更はない。

(議長) 他に何か意見はあるか。

本件は決定が為された報告事項であるため、このような話があったとお聞きいただき、今後ご検討いただきたいとの要望で終わりたいと思う。

2) 令和3年度社会教育委員に関する研修会等について

<事務局より変更点の説明>

- ・ 県社会教育委員連絡協議会地区研究会（横須賀市会場）は書面に変更
- ・ 神奈川県公民館連絡協議会第 63 回県公民館大会はオンラインに変更
- ・ 県社会教育委員連絡協議会地区研究会（秦野市会場）は書面に変更
- ・ 第 3 回県社会教育委員連絡協議会理事会はオンラインに変更

<これまでの研修会等の報告事項>

【知ることからはじめる人権啓発研修講座】

(委員) ハンセン病については治療法が確立され、新規感染者もほとんどおらず、日本では過去の病気となりつつあるとのことであった。だが、それでも元患者には、療養所から帰る居場所のない方々が多く、今なお課題は残されていることを学べた。

(委員) 大変な偏見と差別に苦しんだ過去や、療養所から退所することの苦労などについて話を伺ったが、講師の石山氏は前向きで勇気のある方であり、当時の偏見に対しても、持ち前の前向きな態度で立ち向かっていたことが伝わってくる、とても意義のある講演であった。

(議長) 以上の報告を以て本議題については終わりたいと思う。その他の研修会についても、書面開催の資料やDVDの送付があればその際に改めて報告していただきたい。

3) 令和4年度家庭教育支援に関する事業について

(議長) 資料3をもとに事務局から説明をお願いします。

(市) 前回会議にて学びの継続、地域循環型の家庭教育支援について、今年度の課題を踏まえ、次年度も講座を実施することが承認された。今回は場所の確保や講師の調整も含め、開催日時、場所、定員について意見と検討をお願いします。

また次回以降は、これまでの研究内容をもとに、提言に向けての取組みの振り返りや、提言の方向性の検討、今後地域の団体への事業の引継ぎも見据えた活動とすることに関して、協議を進めていきたいと考えている。

(議長) 事務局より、次回以降は提言に向けて大枠を作る作業を社会教育委員としてやっていくという説明があった。今回はまず、場所の確保や講師調整のために、開催日時、場所、定員を決める必要があるとのことである。各委員より意見をお願いします。

(議長) 企画の内容としては前回同様、家庭教育に関する座学の講義と、

佐々木洋氏をお招きしてのフィールドワークの組み合わせとしてよいか。

(一 同) 異議なし。

(議 長) 次回の開催で4度目の実施となり、家庭教育支援事業に取り組み始めてから5年ほどが経つ。事務局からの説明にあったように、そろそろ取組みを事業として引き継いでいかなければならない時期にあると考える。次年度の予定としては事業実施と、今まで取り組んできたことの総括としての、提言・報告書の作成として進めてよいか。

(一 同) 異議なし。

(議 長) では、開催日時および場所について意見はあるか。開催の時期は11月、場所は市北部としてよいか検討したい。また、周知方法についても委員の意見を伺いたい。これまでは地域の方々に伝えるため、開催場所の周辺にのみチラシを配り、広報やまとへの掲載は行ってこなかった。次年度の実施にあたっては、広く参加者を募るため、広報やまにも掲載するべきかどうか意見をお聞かせ願いたい。

(委 員) 広報やまとで全市的に周知を行い、開催地が北部であっても南部在住者も参加可能とするのであれば、コミュニティセンターでの開催に限らず、ポラリスなどでの開催も考えてよいのではないかと考える。

(議 長) この家庭教育支援事業を立ち上げた際に、コミュニティセンターを利用した経緯がある。地域のコミュニティセンター、児童館をどのように活用していくかという課題があった。市内20箇所にある、住民の拠り所としての位置付けも考慮して、コミュニティセンターでの開催に拘ってきた。だが、今年度はコミュニティセンター付近に自然体験の場が設定できなかったことから、大和ゆとりの森での開催であり、ここで方針を変えるのも一つの案なのではないか。開催場所に関して事務局の考えを聞かせてほしい。

(市) 只今の議長による説明や、資料3の裏面にもあるように、事業の立ち上げの段階で、市内のコミュニティセンターおよび社会教育主事をいかに活用するか、という課題を抱えていた。また、学習センターでは家庭教育学級に関する講座が実施されているが、そのような講座に参加できない方々にも届くように、さらに地域へ出ていこうとした側面もある。そのような経緯を踏まえた上での方針の変更は十分に考えられるし、この場で検討されるべきではないか。

(議 長) 今年度はフィールドワークを実施するために、大和ゆとりの森を活用した。コミュニティセンターでの実施を基本路線としつつも事業の形態に応じて、大和ゆとりの森、または学習センターでの実施も視野に入れて検討するとしてよいか。

(一 同) 異議なし。

(議 長) 時期については11月の開催を予定とし、また、広報やまとへの掲載を行い、定員を超えて抽選となる可能性はあるが、市全体へ周知する方向で進めてよいか。

(一 同) 異議なし。

(議 長) では、開催日時は令和4年11月、会場は市北部のコミュニティセンター、講座の周知は広報やまにも掲載する、という方向で進めることにする。それから今年度の実施にあたっては、下福田中学校区家庭・地域教育活性化会議に協力を依頼したが、次年度は市北部での開催であることから、つきみ野中学校区家庭・地域教育活性化会議などへの呼びかけを検討したいと考える。

<協議事項>

1) 大和市子ども読書活動推進計画～こども読書よむ読むプラン（諮問）

<図書・学び交流課長より説明>

(議 長) では、まずは資料5における、計画策定にあたっての背景や目的、あるいはこれまでの第3次計画期間における成果などについて、質問や意見はあるか。

(委 員) 第3次計画における基本方針2「こどもを読書に導く環境の整備」の成果について、「児童館等の子どもの集まる施設の蔵書の充実に努めました」という記述があるが、蔵書の充実は市内すべての児童館で行われたのか伺いたい。また、読み聞かせボランティアについても、それぞれの児童館、学童保育の場などで実施されているのかどうか、併せてお聞かせ願いたい。

(市) 蔵書の量については児童館毎にまちまちである。各館、指定管理者制度により運営されているが、購入するかどうかは各館毎であり、冊数まで統一して購入してははいないようだ。今後はなるべく、すべての児童館で蔵書の充実に意識してもらえるよう、現在策定中である実施計画に盛り込んでいきたいと考えている。また、図書館の蔵書を児童館などに提供するリサイクルフェアの取り組みはこれまでも実施してきたが、児童館自体も読書推進の主体であるという認識を持ってもらえるよう、今後はいっそう力を入れていきたい。

個々の児童館に根差した読み聞かせボランティア団体があるかどうかについては、地域のボランティアの活動のなかでコミュニティセンターを活動場所とする団体はあるのかも知れないが、現段階では把握できていない。

(委 員) コミュニティセンター、児童館については不明だが、現在はコロナ禍であるため読み聞かせの活動は休止中であるが、学童保育の場では読み聞かせボランティアを実施している。

(議 長) 細かな指摘になるが、同じく第3次計画の基本方針2「こどもを読書に導く環境の整備」の成果について、図書館への「生徒一人あたりの入館回数」という記述は、小学生も含まれているため、教育委員会に付議することも考慮して「児童・生徒一人あたりの入館回数」と書き改めてはどうかと考える。

では、他に質問や意見はないようなので、計画策定にあたっての背景および目的、また第3次計画期間における成果については、

これでよいか。

(一 同) 異議なし。

(議 長) それでは次に、「第4次大和市子ども読書活動推進計画(こども読書よむ読むプラン)」について、基本理念や個々の施策目標・方策に関する質問や意見はないか。まずは施策目標1について、委員各位に伺いたい。

(委 員) 方策1-4に記されている主な取組みとしての「電子書籍を活用した読書活動の推進」とは具体的にはどんなことを指しているのか。

(市) 現在、市内の図書館では電子書籍の貸出・閲覧などを指定管理者独自の取組みとして実施している。ただ、蔵書のラインナップに関しては、子ども向けの本が充実しているという訳ではないので、電子図書館の充実を指定管理者の正式な業務として組み入れてもらうなど、直接的な増強策を取っていただけると考えている。

(委 員) 図書館を含め、これから各所で蔵書を充実させていくということであるが、書籍を購入するための予算について、現状どのように確保しているのか説明していただきたい。

(市) 図書館の運営においても、指定管理者制度を導入しているため、蔵書購入の予算は指定管理料に含まれる。

(市) 年15,000冊程度を目安に、計画的に購入していただく仕様となっている。

(市) 15,000冊は蔵書全体の数であり、子ども向けの本のみを指すものではない。しかし、絵本などに関しては、令和4年度はこの指定管理料とは別に市でも予算をとる予定であり、そうした子ども向けの蔵書を充実させることで、子どもの読書活動の質を高められるのではないかと考えている。

(議 長) 方策1-1にある主な取組み「読書活動の意義を伝えるリーフレットの配布」についてであるが、数年前に、県社会教育委員連絡協議会において大和市が「家読」に関する事例発表を行った際、同様にリーフレットを作り、各家庭に配布した経緯があるので、参考にしていただけたらと考える。

(委 員) 方策1-4の主な取組みに「ビブリオバトルの実施」と記されているが、どういった取組みなのかお聞かせ願いたい。図書館にて定期的実施されている事業であるのか。

(市) ビブリオバトルとは、複数の発表者が、それぞれ読んで面白いと思った本を持ち寄り、本を互いに紹介し合い、すべての本の紹介が終わった後、参加者全員で、どの本が一番読みたくなったか、という観点から投票を行い、チャンプ本を決定するというものであり、全国的に実施されている。本市の図書館でも、中学生の参加する職場体験でプログラムに組み込まれている。

(議 長) 「朝読」については現在、市内すべての小・中学校で実施されているのか。

(委 員) 「朝読」は行われているが、読み聞かせはコロナ禍であるため、休止している。今後実施するのであれば、リモート形式になっていくのではないだろうか。

(議 長) 読み聞かせボランティアについては、コロナの収束後の見通しになるが、市内高校または中学校とのタイアップが可能であれば、さらに面白い事業になるかも知れない。学生たちをボランティアとして養成し、保育園や幼稚園で読み聞かせを行ってもらえば、子ども同士の学び合いの機会にもなる。

それでは続いて、施策目標2について、委員各位に質問や意見を伺いたい。

(委 員) 施策目標2に限られる質問ではないのだが、お伺いしたいことがある。多様な施策目標・方策などが設けられているが、これらを総括してチェックしながら、総合的に進めていく機関があるのかお聞かせ願いたい。

(市) 子ども読書活動推進計画において、全般的な管理を担当するのは図書・学び交流課となる。また、実施計画における個々の目標の進捗状況の点検を行う機関としては、子ども読書活動推進会議が設置されている。推進会議での点検結果をもとに、全庁的な調整を通して計画全体をコントロールするのは、図書・学び交流課になると考えている。

(議 長) 施策目標2に関しては、特に質問や意見などはないようなので、続いて、施策目標3に議題を移すこととする。この目標について意見などはあるか。まず私から質問したいのだが、「市立図書館で実施するボランティアのつどいへの参加団体数」として、現状値と目標値が記されているが、各団体のボランティア登録人数は把握していないのか。

(市) 人数は分からないが、ボランティアのつどいの通知団体は26団体である。

(議 長) 施策目標3に関する質問や意見は他にないようなので、最後に、評価指標の検討に進みたい。

一点、私からお伺いしたい。施策目標2「こどもを読書に導く場をつくる」において「市内小中学校の学校貸出制度の利用実績」の現状値が13回となっているが、市内に小中学校が28校あると考えると、実績が少ないように思える。この辺りには何か事情があるのか。

(市) 学校貸出制度については、制度の運用法に見直すべき点があると考えている。現行の制度においては、学校司書が直接、図書館に来なければ本を借りられないため、勤務時間内に来るハードルや、書籍自体の重量、運搬の困難といった問題もあり、なかなか制度の活用が難しかったようである。そこで令和4年度は配送の仕組みを整えようとしている。運搬車が学校に出向くなどして、求めに応じて書籍を届けられる仕組みを考案したい。そういった部分も含めて、目標値は高めに設定してある。

(議 長) 評価指数に関して他に質問はないようであり、これで3つの施策目標と評価指数に関して検討が終わったことになる。答申内容については議長に一任ということで承認してよいか。

(一 同) 異議なし。

(議 長) それでは内容を適当と認め、答申することとする。

	<p>次回の日程について、事務局より願います。</p> <p>(市) 次回は令和4年度第1回定例会議を4月に開催予定である。4月21日から27日までの間で、人数の多い日で確定したいと考えている。</p> <p>～各委員に確認～</p> <p>では、4月27日(水)とする。</p> <p>事務局からは以上である。</p> <p>(議 長) これにて議事を終了とする。</p> <p><閉会></p>
<p>会議資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度第4回社会教育委員会議定例会(第32期)次第 ・ 第32期大和市社会教育委員名簿 ・ 生涯学習振興補助金(令和4年度事業分)選考結果について ・ 令和3年度社会教育委員に関する研修会等 ・ 令和4年度家庭教育支援講座(開催要項) ・ 第4次大和市子ども読書活動推進計画 「(愛称) こども読書よむ読むプラン」概要 ・ こども読書よむ読むプラン(第4次大和市子ども読書活動推進計画)(案)